

発表された。モッコクモドキはタイ、インドシナ諸国、フィリピン、ボルネオ、中国、台湾、朝鮮、日本にわたって広く分布し、多型的な一種であると考えられ、私もこの種の範囲の採りに賛成である。北村(1974)ではシャリンバイ(マルバシャリンバイを含む)、ヒメシャリンバイ、ホソバシャリンバイが日本産の種類としてそれぞれ変種で認められているが、私はヒメシャリンバイはシャリンバイ(マルバシャリンバイを含む)の矮小型と考える。また、シャリンバイの学名には変種名として *R. umbellata* var. *mertensii* の autonym である var. *umbellata* が生きることになるので、新組合せが必要である。ホソバシャリンバイは北村先生の扱いを採る。花序の軸と萼裂片が無毛である形はオキナワシャリンバイ (*R. indica* var. *insularis* Hatusima, nom. nud.; *R. umbellata* var. *hiiranensis* (Kaneh.) Hatusima, comb. subnud.) と名付けられているが、安定した形かどうか疑問である。ホソバシャリンバイの標本をみると、花期に花序軸が無毛またはほとんど無毛の形があるが、そのような形でも萼裂片は有毛であり、オキナワシャリンバイに当たる形を見ることはできなかった。

○スルガヒョウタンボクの学名(大橋広好) Hiroyoshi OHASHI: A new name for a Japanese variety of *Lonicera alpigena* L. (Caprifoliaceae)

スルガヒョウタンボクの学名を国際植物命名規約57.3条によって次のように変更することが必要である。

Lonicera alpigena L. var. **watanabeana** (Makino) Ohashi, comb. nov.

L. watanabeana Makino in Bot. Mag. Tokyo 28: 128 (1914).

L. watanabeana var. *viridissima* Nakai, Tent. Capr. Jap. 100 (1921).

L. alpigena var. *viridissima* (Nakai) Nakai ex Hara in Journ. Fac. Sci. Univ. Tokyo ser. 3, 6: 382 (1956), in adnota. Ohwi, Fl. Jap. ed. rev. 1269 (1965). Kitamura & Murata, Col. Ill. Woody Pl. Jap. 1: 13 (1971).

L. alpigena subsp. *glehnii* (Fr. Schm.) Hara var. *viridissima* (Nakai) Nakai ex Hara: Hara in Ginkgoana 5: 60 (1983).

本変種についてのこれまでの分類学上の研究と文献については Hara (1983) に詳しく記述されている。

(東北大学 理学部生物学教室)